

介護労働安定センター石川支部 喀痰吸引等研修(第一号研修及び第二号研修) カリキュラム(例)

【研修期間】令和7年●月●日～令和7年●月●日

❖ 講 義 (会場:受講者の事業所)

日程	研修時間	講義時間	内容		講師	
1日目 [研修室で行う 集団研修]	9:30 ～ 10:00	0.5	『開講式』および『オリエンテーション』		事務局	
	10:00 ～ 11:40 (講義1.5時間) (休憩10分を含む)	0.5 1	人間と社会	1.個人の尊厳と自立	A氏	
				2.医療の倫理 3.利用者や家族の気持ちの理解		
	60分		休憩			
	12:40 ～ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む)	1 0.5 0.5 2	保健医療制度とチーム医療	1.保健医療に関する制度		
				2.医療的行為に関係する法律 3.チーム医療と介護職員との連携		
2日目 [研修室で行う 集団研修]	9:30 ～ 12:10 (講義2.5時間) (休憩10分を含む)	2 0.5	安全な療養生活	2.救急蘇生法	A氏	
			清潔保持と感染予防	1.感染予防		
	60分		休憩			
	13:10 ～ 16:30 (講義3時間) (休憩20分を含む)	0.5 0.5 1 1	清潔保持と感染予防	2.職員の感染予防		
				3.療養環境の清潔、消毒法 4.滅菌と消毒		
	3日目 [研修室で行う 集団研修]	9:30 ～ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	1.5 0.5	健康状態の把握	1.身体・精神の健康	A氏
			2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど) 3.急変状態について			
60分		休憩				
12:40 ～ 16:30 (講義3.5時間) (休憩20分を含む)		1.5 1 1	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	1.呼吸のしくみとはたらき		
				2.いつもと違う呼吸状態 3.喀痰吸引とは		
4日目 [研修室で行う 集団研修]		9:30 ～ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	2	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	4.人工呼吸器と吸引	A氏
	60分		休憩			
	12:40 ～ 16:30 (講義3.5時間) (休憩20分を含む)	1 0.5 1 1	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	5.子どもの吸引について		
				6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 7.呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して) 8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認		
	5日目 [研修室で行う 集団研修]	9:30 ～ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	2	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引概論	9.急変・事故発生時の対応と事前対策	
		60分		休憩		
12:40 ～ 16:30 (講義3.5時間) (休憩20分を含む)		1 1 1.5	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	3.喀痰吸引にともなうケア		
				4.報告および記録		
			高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	1.消化器系のしくみとはたらき		
6日目 [研修室で行う 集団研修]		9:30 ～ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	1 1	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	2.消化・吸収とよくある消化器の症状	A氏
			3.経管栄養とは			
	60分		休憩			
	12:40 ～ 16:00 (講義3時間) (休憩20分を含む)	1 1 1	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	4.注入する内容に関する知識		
				5.経管栄養実施上の留意点 6.子どもの経管栄養について		
	7日目 [研修室で行う 集団研修]	9:30 ～ 12:10 (講義2.5時間) (休憩10分を含む)	1 0.5 1	高齢者および障害児・者の 経管栄養概論	7.経管栄養に関する感染と予防	A氏
			8.経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認			
60分		休憩				
13:10 ～ 16:30 (講義3時間) (休憩20分を含む)		1 1 1	高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	10.急変・事故発生時の対応と事前対策		
				3.経管栄養に必要なケア 4.報告および記録		
8日目 [研修室で行う 集団研修]		9:30 ～ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	1 1	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	1.喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	B氏
			2.吸引の技術と留意点			
	60分		休憩			
9日目 [研修室で行う 集団研修]	12:40 ～ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む)	4	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説	2.吸引の技術と留意点	B氏	
	9:30 ～ 11:40 (講義2時間) (休憩10分を含む)	1 1	高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持		B氏
				2.経管栄養の技術と留意点		
	60分		休憩			
12:40 ～ 17:00 (講義4時間) (休憩20分を含む)	4	高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説	2.経管栄養の技術と留意点			

10日目 [研修室で行う 集団研修]	9:30 ~ 9:45		オリエンテーション	筆記テストに関してオリエンテーション	事務局
	15分				
	10:00 ~ 11:00	1	筆記テスト	筆記テスト	B氏
	15分				
	11:15 ~ 11:30		オリエンテーション	今後の件に関してオリエンテーション	事務局
補講及び追試験・演習	12:30~16:00 (休憩 60分を含む)	3.5	救急蘇生法 : 「1回」以上実施 補講及び追試験または演習	※筆記試験合格者は演習「心肺蘇生1回以上」 ※筆記試験不合格者は補講及び追試験「心肺蘇生1回以上」	B氏

※ 研修日によって、研修時間が異なりますのでご確認ください。

❖ 演 習 (会場:受講者の事業所)

日程	研修時間	内容	講師
11日目 12日目 [研修室で行う集団研修]	9:30~17:30 (うち演習時間:7時間) (お昼休憩:60分)	1日目 ・たん吸引(口腔内・鼻腔内、気管カニューレ内部) : 各「5回」以上実施 2日目 ・経管栄養(胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養) : 各「5回」以上実施 ※ 半固形栄養剤「1回」実施 ※ 模擬演習及び記録時間を含む。 各「5回」以上実施。	B氏

❖ 実地研修 (場所:各自が所属する法人等)

日程	内容
基本研修終了後から	自らが所属する法人等で実地研修を実施していただきます。 《たん吸引》 口腔 : 10回以上 鼻腔、気管カニューレ内部 : 各20回以上 《経管栄養》 胃ろう又は腸ろう : 20回以上 経鼻経管栄養 : 20回以上

❖ 修了日(修了日までに、必ず実地研修実施にかかわる報告書等を提出してください。)

❖ 修了証明書の発行

修了日から、概ね2週間以内に発送します。